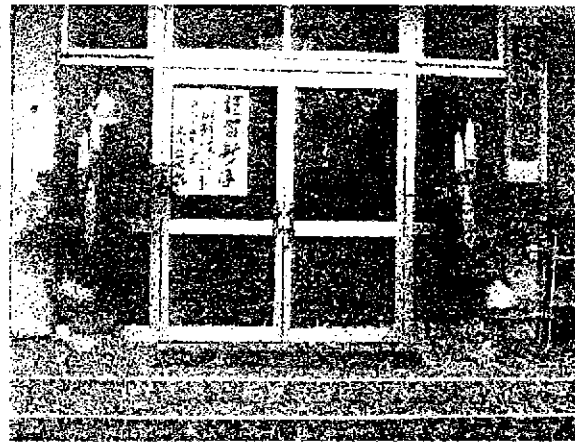


ひろば大代

NO,282

大代公民館

H 15, 1, 9



自然を守る活動を通して

地域の活性化をすすめるよう

大代公民館長 横手新治郎

明けましておめでとございます。
町民の皆様方には、ご家族おそろいで良い年をお迎えになられたことを、心からお慶び申し上げます。

昨年は、それぞれの立場で、積極的に町内の諸活動に参加し、ご協力いただいたおかげをもちまして、成果を挙げさせていただきましたことに感謝申し上げます。

大代の人口は、11月末で581人となり、13年5月に600人を割ってから約1年半で19人減少したことになります。今後ともこの状況は変わらないかと思いますが、町民の皆様と力を合わせて、元氣のなる町づくりを進めたいものと思っておりますので、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

中山間地域の活性化が叫ばれてから久しくなりますが、その気配はなかなか出てきておりません。全く新しいことをはじめて活性化するには、大代の現在の環境から考えると、リスクがあまりにも大きすぎて、とても出来ないかと思いますので、昔から有るもの、生きていくもの、継承されているものなどを活かすことを考え、実践することが最も必要なことだと思ひます。さいわい、大代町には大江高山とい

う将来も不滅な山と、そして自然がありますので、このすばらしい自然環境を守る活動を通して、活性化を図ることが最も近道と考えます。昨年4月大江高山に、全国的に珍しいたくさんのギフチョウが生息していることがわかりましたので、町民の力で「高山」と「チョウ」を守る活動を積極的に行うことで、活性化を図れたらすばらしいと思ひます。

また、高齢化率も48.7%となり、50%に達するのにも近いことと思ひます。高齢者の方が安心して、元氣で、生き生きとして暮らせる町にするための、生涯学習活動を進めたいと思ひますので、積極的な参加をお願いいたします。

ある病院の先生に「使いなれた鉄はさびない」という言葉をとおして聞かされたことに、「人間は頭・体を、生涯をとおして大切に使うべきで、さびなくて、長く使うことが出来ます。適切に使いならすようにしましょう。」と言ってくださいました。

かの有名な二宮尊徳先生は「わが道

は実践あるのみ」と言っておられます。町民一人ひとりが具体的に実感したり、実践することが大切です。地域と人が、人と人が実践というきずなで結び合っ

年頭にあたりて



連合自治会会長 田邊 恒信

新年明けましておめでとございます。町民の皆様ご家族お揃いで良いお年を迎えられた事を存じます。心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、連合自治会に多大なるご協力を頂き厚くお礼申し上げます。まず、昨年は、自然災害、無火災であり良かったと思えます。

恒例となりました、都市とふるさとを結ぶ交流会も十七回目となりました。昨年はミニ運動会を行ない老若男女、相集い楽しい一日を過ごすことが出来ました。これも地元の皆様のご協力の

賜ものと心より感謝しております。

十一月十七日には大代町高山の里文化祭が行われました。午後には、「土木の日」に因み、大田土木建築事務所所長さんを始め職員の皆様と共に県道バイパスの法面へ三五〇本のサツキの苗の植樹を行いました。当日は天候にも恵まれ、幼稚園、小学生、町民総出の植樹となり大盛況のうちに終了しました。

春には、赤い色の花が咲くのを今から待ち望んでおります。本年秋には、バイパスも開通する予定です。本年も多種多様な行事を予定しております。何卒ご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

今年もよろしく

お願い申し上げます



市議会議員 木村幸司

新年明けましておめでとございます。皆様それぞれに、穏やかな幸多き

住民主体の町づくり

初春をお迎えになられた事と、お慶び申し上げます。平素より、町民皆様には公私ともにお世話になっておりますこと、年頭にあたり衷心より御礼申し上げます。

さて、平成十五年は私どもの故郷が、転機を迎えるにつけ、非常に重要な年になるのではないかと思っているところでございます。皆様ご存知のように只今、大田市・仁摩町・温泉津町の一市二

町が合併に関して検討を重ねていくところでございますが、昨年は任意の協議会において、県中央の地方自治体が勝ち残る為の《戦略》を審議してまいりました。いよいよ本年は、一月六日に法定の協議会を

立ち上げ、勝つ為の《戦術》を審議する訳でございます。町づくりの基本は住民主体でございます。行政が示されたものを叩き台として、住んでいる皆

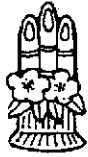
様が我が町を暮らし良い町にするには如何すれば良いか、考え・創り上げていかなくは成らないのです。大代町は、大田市の西の果てでは無く、大田市西部の中心地に成るのだと言う気概をもつて皆様と共に取り組んで参る所存でございます。故郷のために、皆様の知恵とお力をお貸しくください。

私事でございますが、本年は「本厄」なのだそう、町の活性化に役立つ活動こそが、「厄落としの一環である」と考え、益々研鑽に努め、情熱を費やしたいと考えております。

最後となりましたが、大代町民皆様方の益々のご健勝と、ご多幸を祈念いたしました。年頭のご挨拶とさせていただきます。今年も一年よろしくお願ひいたします。

年頭の挨拶

東京石見高山会会長 楠 義見



平成十五年の年頭にあたり 新年の

お慶びを申し上げます。

昨年は二人のノーベル賞受賞という日本始まって以来の快挙の報に接し、感動させられ、また、北朝鮮による拉致被害者の二十有余年ぶりに帰国された姿を拝見し胸を熱く致しました。

それぞれ、皆様の故郷での大歓待を見るにつけ、故郷の人々のいつまでも変わらない暖かい応対には、目頭が熱くなりました。

又、昨年は東京で行われた「はぐるま会」の皆様によってふるさとの味覚を堪能させて頂いたり、大江高山の自然環境保護や伝統文化の継承に尽力されていることに接し、故郷の「ぬくもり」に包まれ、我が「ふるさと」の懐かしい風景、懐かしい皆様の姿が脳裏を横切り、改めて「ふるさとにおおしる」の出身であることに、誇りと喜びを抱かせて頂きました。

故郷大代高山会、関西高山会、東京石見高山会の皆様と手を取り合って、故郷との絆を深めさせて頂きましょう。本年も明るく活力のある年となるこ

とを願いつつ皆様のご健康とご多幸を心より念じ年頭の挨拶とさせていただきます。

新春に寄せて

関西高山会会長 田中公道



新年明けましておめでとございます。皆様にはお健やかに初春をお迎える事とお慶びを申し上げます。

関西高山会総会は本年六月八日(日)第十二回総会を開催いたします。

昨年の総会では「ふるさとの」の皆様の素晴らしいパフォーマンスによる都市と古里を結ぶ交流によって、画期的な出席率を得て大成功に終えることが出来ました。今年も古里の皆様との楽しい企画によって、さらに発展した総会になりますよう、皆様方の絶大な御支援を賜りたく思っています。

二十一世紀になって世の中が情報化、活性化、IT革命、グローバル革命と、

休む間もなく人々が追い込まれているように思えてなりません。この辺りで一度、全てのことを忘れて人間性を取り戻す必要があるのかもしれない。

とは言え、私は今年も地球三周を越す距離の世界リサイタルツアーに旅立たなければなりません。

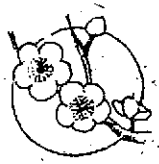
世界が平和でありますよう、一國主義的なグローバリズムではなく、異文化を認め、世界の異なった価値観を理解することだと思えます。

故郷を共有する私たちは、一層手を携えて、更なる親睦と高山会の発展に尽力したいと願っています。

皆様の御健康と御多幸を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

環境という財産

大代小学校校長 多々納今子



私は、大代の地が大好きである。日本の原風景があり、四季の移ろいを目

や肌で感じられる地だからだ。

過日、シジミ研究所長の中村幹夫さんの講和を聞いた。

実道湖は、あのヤマトシジミがプランクトンを食べ、湖の汚れをろ過してくれるそうだ。

植物のヨシも窒素やリンを取るが、それ以上にシジミが取るそうだ。

同じように川でも、魚の棲めるような川にするには、水・緑・土を大切にするといいそうだ。水については、水量と水質を考えること。夏に水が流れる川が良い。そのためには、山に木があることだ。

緑については、川の周囲に草や木の陰があれば良い。柳の木が一番好ましい。そう言えば、子どもの頃、遊んだ川の洲にも柳の木があったことを思い出した。

土については砂、小石、水際の土があればいい。川岸に柳の木を植え、傾斜のある護岸にすると、陰が出来る。その川にめだかや鮎を放流すると、川の水の汚れをろ過してくれるそうだ。

八反田川を見直してみるのも良いではないだろうか。柳は川岸でも生育可能であるし、雪折れもしない。川岸の侵食防止にもなる。そうすると、土壌も安定し流れない。それに柳の木は、挿し木が容易であり、多様な樹形になる。姿も美しい。

そして八反田川にめだかの学校が蘇えて、蛍が乱舞すれば、すばらしい環境になるのではないだろうか。

春、みつまたの花が咲き始めると、大江高山に希少種のギフチョウが舞う。夏、八反田川にめだかがすい泳ぎだすと、夜空に銀河がきらめき、蛍が舞う。

秋、山々の木々が紅葉すると、ハッチョウトンボが舞う。間もなく、冬が来て雪が舞う。そんな大代の地を想像している。

大代小の子ども達も、そんな素晴らしい環境という財産を守り育てる子であってほしいと願っている。

今年は未年・私の年



大代婦人会会長 田辺幸子

光陰矢の如しとはよく言ったもので、またたく間に正月も過ぎて行くこうとされています。

明けましておめでとございます。

大代婦人会は三月、第五十六回の総会を迎えます。婦人会組織が弱体化していく中で、何とか今日まで継続できましたのは、町民、御家族の皆様のご協力、そして会員の皆様のおかげです。改めてお礼申し上げます。

ところで、今年は無年、私は年女です。12×? = 72。かわいい子羊も、今は毎日物探しに明け暮れるさまよえる古羊となりました。

県がまとめた年男、年女で最も多いのは七十二歳、一万五百余人と報じられています。私もこの中の一人。ここまで生かさせて頂いた幸せな子です。羊は性温順、美、善、祥をあらわす

雪の中に映える「大代」の花文字

と聞きました。どれにも当てはまらぬ私ですが、せいぜい明るく笑顔で一杯歩いて行きたいと思っています。

大代小学校前から眺める

「大代」のサツキの大文字、

今日も雪の中に映えています。

大代の総力の結集です。

新しい時代の移り変わり、

少子高齢化の中で、大代をど

う残していくか、どう活力を

作っていくか、私達の大きな

課題ですが頑張りますよう。

新年を迎えて

寿会会長 泉 朋納



明けましておめでとございます

います。皆様お揃いで良き年

を迎えられた事と思います。

平素は寿会に御理解と協力を

賜りますことをお礼申し上げます。

長間の経済不況の下で喘ぎながら辿り着いた一年であった様に考えます。

何時この暗闇から脱出できるか見当もつきません。国は「二十一世紀は高齢者の世紀」と強調し、高齢者の持つ豊かな能力と経験を生かして社会参加と貢献を強く呼びかけています。

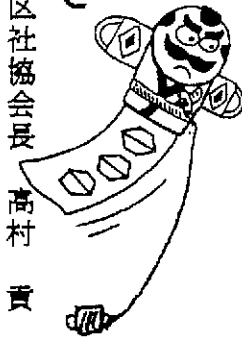
老人クラブは高齢者が仲間作りを通して、生き甲斐と健康作りレクリエーションに取り組み、自らの生活を豊かにする楽しい活動と高齢社会の主人公として高齢者の持つ経験と知恵を生かして地域を豊かにする社会活動に取り組みという事を明らかにし、老人クラブの存在と会員の誇りと自信を高める事を目的としています。

私共はその目的にそって第一に健康作りで寝たきりの運動健康学習、或いは趣味、文化、芸能等サークル活動、地域を豊かにする社会活動、在宅福祉を支える友愛活動ボランティア活動、地域の文化や伝統活動を行って来ました。会員はこのような幅広い活動に参加する事により、楽しみながら仲間作りをし、孤独感をなくし地域で支え合う基盤作りを致しております。

町内で高齢年に達し寿会に未加入の方々も是非加入いただき、手を携えて地域の活性化に協力下さる様にお願ひ申し上げ、年頭の辞と致します。

新春を迎えて

大代地区社協会長 高村 貢



皆様、明けましておめでとうございます。旧年中は皆様には「さくらんぼ教室」や文化祭の共同募金活動など色々とお協力いただき有難うございました。

大田市の中で大代町は高齢化率も一番高いので、痴呆にならないために、皆さんにぜひ実行して頂きたいことを四つ提案いたします。

- 一、家庭、他人との対話
- 二、本人から仕事を取らない。押し付けない
- 三、なるべく外部の人と交際する。
- 四、自分で考えこまず話をする。

以上のような事に気をつけて元気で頑張つて下さい。私の好きなテレビコマーシャル

子供叱るな。来た道だもの

年寄り笑うな。行く道だもの

この気持ちで今年もよろしくお願ひいたします。

消防機構改革

大代消防分団長 井谷英美



新年明けましておめでとうございます。消防に対し町民の皆様より御支援、御協力いただきまして厚くお礼申し上げます。

昨年は長い日照りが続き水不足で自然水利を利用するところで火災が出たらと、大変心配もしました。が、大きな災害もなく良い年でした。

さて、平成十七年には市町村合併も決まっています。大田市消防団も機構改革があり、当大代分団も七班ありますが、三班減って十七年秋から四班編成になります。要員数も三十九人体

制に機動力も増強し、各班にはポンプを載せた輸送車が配置され有事のときはすぐ出勤出来る様になります。

ます。

しかし団員は非常勤です。ほとんどの団員は他町で様々な職業で働いているのが現状です。火災の時、大切な

初期の消火、又最悪の時高齢者の焼死も考えられます。これは大代町だけではありません。今後、市全体で「自主防災組織」が考えられています。

地元で居られるまだまだ元気な善男善女の方々に消防団員が帰ってくるまで、自治会単位

で初期消火活動、又高齢者の避難の手伝い等も行なつて頂くという事です。

今年中には具体的な話も出来る事と申します。その節はご協力お願い致します。

自主防災組織の確立

します。最後に町民の皆様のご健康とご多幸と事故・災害の無い年になる事をお祈り致します。

歳時記「絵双六」



大代駐在所 神在英夫

明けましておめでとうございます。昨年中は、おかげさまで大きな事件・事故の発生はありませんでした。本年も皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

お正月の遊び双六は日本には奈良時代に中国から伝えられたといわれ、日本書紀に名が見られるそうです。

絵双六は一六世紀後半の文書に現われる「浄土双六」と考えられています。

南せん浮洲を振り出しに、上は極楽、下は地獄の構図、華やかな絵が描かれた双六が広く出回るようになったのは江戸時代の中期、なかでも道中双六はロングセラーで、広重、北斎といった有名な絵師たちも数多くの双六を残し

ています。

その後も時勢を絵に写しながら双六は庶民に親しまれてきましたが、最近では遊びの世界から急速に姿を消してしまいました。

双六は年齢を問わず遊べるゲームです。このお正月、双六をもう一度復活させて家族で楽しんでみてはいかがでしょうか。

今年の夢



幼稚園PTA会長 谷口俊二

仕事の関係で年末年始はとても忙しくこの原稿がひろばに掲載される頃は少しまとめて休みが取れる頃であろうか。いつものことで慣れているとはいえ、たまには家族とゆつくり正月を過ごしてみたいと特に最近よく思う。歳を取ったのか、人生守りに入ったのかいろいろ考えさせられる日々。

地元に着らしながら仕事を口実に満足に地域の活動に参加出来ない自分が歯がゆく、また子供になかなか父親ら

しいことが出来ずすまなく思う日々。なにやってるんだかなあ人生、少し疲れたかな。

新年早々文面が重くなりましたが、皆さん童心を取り戻すことがありますか？遠足の前夜のあの胸の高鳴り高揚です。私には趣味に釣りがあり、地元はもちろん年に何回かの隠岐島と、今準備の最中である九州への遠征釣行をします。

長崎より高速瀬渡し船で4時間の航程、東シナ海の孤島、映画喜びも悲しみも幾年月で有名になった女島灯台のある男女群島と肥前島島です。釣り人涎の地と呼ばれながら早や今回で二十数回を教え、また釣行を重ねる度に改めてこの島の魅力、スケールに感動を覚えます。目まぐるしく変化する海流海況、大型魚との駆け引きに沸き上がるアドレナリンに今度ほどの磯にチャレンジしようか、どんな仕掛けでいともうかと、もう心は幼い子供にタイムスリップ。

一つの道楽ではあるがストレスで満

たされた今日に心を癒してくれるものと出会えてよかった。またそれを理解？してくれる家族に感謝します。

「各局、各局こちらは女島、女島、海上保安庁が海況をお知らせします…こちらは女島さようなら」またこの無線を船で聞けるかと思うと仕事の手につかなくなるこの時期に、遠くない将来、小船を買って息子達と船釣りに興じている光景を、にやにや思い浮かべながら時間を見つけては浮木作りに精を出している自分がいたのです。

子供たちに生きる力を

小PTA会長 泉 朋記

完全学校週5日制がスタートしてこの4月で一年になります

21世紀を担う子供たちに、今求められていることは、「生きる力」です。その「生きる力」を育むためには、「自ら学ぶ、自ら考えを起す力、互いに助け合い協力する心」を養うことが大切です。

生きる力を育むために

学校週5日制は子供を家庭に帰して家族とのふれあいを奨励し、子供自身にも、ゆとりの時間を確保してやる事が、最大のねらいになっています。しかし、現実には、土曜日に働いている親も多く、親子で過ごすことの出来ない家庭もたくさんあります。そんな時こそ、我々PTAや地元地域の人々の出番です。

今、家庭のあり方や地元、地域の大きな教育力が問われていることを自覚しなければなりません。

地域の方とのふれあい、親子のふれあいの中で、生きる事の意味を話し合い、なぜ学ぶのか、学んだことをどう役立てるのかを、しっかりと認識させる事が大切

ではないでしょうか。

試行錯誤の学校週5日制です。

これからの時代において、地域・学校・PTAが協力し合って「子育て

ネットワーク」を形成・充実させることが重要な課題だと思えます。

◎パソコン初級者

講習会のお知らせ

公民館で初級者の方を対象にIT講習会を次の日程で開催いたします。

参加費無料です。それぞれ先着10名

第一回 日時 1月28日・29日

午後1時30分～午後4時30分

第二回 日時 2月25日・26日

午後1時30分～午後4時30分

場所 大代小学校

申し込み締切り 1月24日(金)

* 2月行事予定 *

▼ 1日(土) 福祉委員会

▼ 16日(日) 福祉弁当

▼ 22日(土) 出張申告相談

▼ 23日(日) 連合自治会

